



西条市立西条図書館ヤングアダルトコーナーフェア案内

YAおすすめ本 2023年3月

フェアテーマ

『お別れ』



三月は去る。

お別れの季節になりました。

一年間を振り返ってどうでしたか。胸に迫るようなことはありますか？

別れの後には必ず出会いがあります。良い出会いができるように、良い別れをしたいものです。色々な別れのシーンを集めてみました。



西条市立西条図書館

住所：西条市大町1590

TEL0897-56-2668

開館時間9：30a.m.~20：30p.m.

3月フェア『お別れ』おススメ本をご紹介



『家を出る日のために』

辰巳 渚 理論社 2008. 1 /590/夕/

もっと幼いころは、世界はいまよりずっと生き生きとしていなかったか。思い当たるなら、家を出る日を夢見してみよう。一番みじかな「暮らし」のなかに、きみが、はじめてきみとして「生きる」すべてのことがある。「いい加減」に、背筋をのばして生きていくための、やさしくて新しい技法のレッスン。



『おとなになるのび太たちへ』

藤子・F・不二雄 小学館 2020.9 /726.1/夕/

夢をかなえたおとなたちが、「ドラえもん」を通じて伝えたいことは？ eスポーツプレイヤー・梅原大吾、声優・梶裕貴、俳優・菅田将暉…。憧れの職業についている10人のおとなによる「ドラえもん」セレクション。子ども時代にさようなら。



『文豪中学生日記』

小手鞠 るい あすなろ書房 2021.10 /913/夕/

「書くこと」が大好きなハルキは、文芸部の部長として周囲の信頼も厚く、中学最後の年を楽しく過ごしていた。ところが、SNSでの誹謗中傷から歯車が狂いはじめ…。書き下ろし青春小説。今までの自分に、さようなら。



3月フェア『お別れ』おススメ本をご紹介



『ポーチとノート』

こまつ あやこ 講談社 2021.10 /913/J/

高校生の未来が机の引き出しにしまっている、その時感じた気持ちを綴った水色のノートと、まだ一度も使われたことがない生理用品の入ったポーチ。誰にも言えない体の悩みを抱えていた未来がある日恋に落ちて…。さよならから変わる何か。



『落花流水』

鈴木 るりか 小学館 2022.2 /913.6/J/

落ちた花は水に乗って流れたいと思い、流れる水は落花を浮かべたいと思う。互いの心が通じ慕い合う。強く思っているなら、いつかそういう日が来る。現役受験生作家が紡ぐ、リアル受験生の青春小説。初恋にさよならして歩き出そう。



『飛び立つ君の背を見上げる』

武田 綾乃 宝島社 2021.2 /913.6/J/

希美、みぞれ、優子とともに、4人で過ごした最高にいとおしくて、最高に誇らしかった日々。北宇治高校3年、中川夏紀。私は今日、吹奏楽部を引退した…。夏紀の視点で仲間達を描く。「響け！ユーフォニアム」シリーズ最新作。引退という別れの場면을爽やかに描きます。



3月フェア『お別れ』おススメ本をご紹介



『図書館のはこぶね』

名取 佐和子 実業之日本社 2022. 3 /913.6/ナ/

10年前に貸し出されたままだったケストナーの「飛ぶ教室」が、野亜高図書館に戻ってきた。体育祭を控え校内が沸き立つなか、1冊の本に秘められたドラマが動き出す。この世界が愛おしくなる瑞々しい青春小説。一つのさよならから始まる物語。



『人類滅亡フラグがたちました！』

令丈 ヒロ子 PHP研究所 2021. 4 /913/W/

光輝く生命体、カンノンによって密室に集められた13歳の男女7人。カンノンにどんな世界がこの星の人類にとって理想なのかを問われ、「永遠にラブラブの世界」「平等な階級制の世界」などと答えていくが…。地球にサヨナラしなければならぬとしたら？



『少女と少年と海の物語』

クリス・ヴィック 東京創元社 2021. 5 /933.7/ヒ/

激しい嵐で乗っていたヨットが転覆。小さな手漕ぎボートで漂流していた少年ビルは、やはり嵐で遭難したらしいベルベル人の少女アーヤと出会う。極限状態のなか、アーヤが語る物語の力がビルの心を救い…。本当に題名の通り少年と少女と海しか出てきませんが手に汗握ります。ずっと心に残るサヨナラ場面です。

